

令和8年度 第1回 富里市気候変動対策プラットフォーム 会議録（要点筆記）

日時	令和8年5月15日（金） 17:00～18:30
場所	富里中央公民館2階和室
出席者	【出席者】※順不同 委 員 西廣委員、瀬良委員、川野委員、橋本（孝）委員、 里内委員、佐々木委員、大島委員、平野委員、 相川委員、吉木委員、橋本（純）委員、津田委員、 橋野委員、 事務局：藤田課長、関口主査、東門口主査補、榊原副主査
欠席者	【欠席者】※順不同 委 員 川嶋委員、岡本委員、竹内委員
次第	1 開 会 2 座長挨拶 3 意見交換 4 その他 5 閉 会
座長 事務局	1 開 会 2 座長挨拶 3 意見交換 ー以下、主な意見ー ・まずは今年度のスケジュール感を把握したい。 ・今回含め、年4回を予定している。冒頭の西廣委員のご挨拶のとおり、実行に移す際には何回目を目指すのか、ということを念頭に議論いただきたい。
座長	・年度替わりの初回であるため、今年度の抱負も含め各委員に一言ずつお願いしたい。
	ー各委員挨拶ー
座長	・昨年度末に、スタンプラリーアプリと公園の活用の2案が出たが、その後相談する機会があったか。
委員	・スタンプラリーアプリはラインで話したことがあった。
委員	・公園については何も話していない
座長	・スタンプラリーアプリの進捗はどうか。

委員	・期限を設けるという意見が出た。
座長	・雨庭のある公園、気候変動への工夫がある農地等をスタンプラリーで回りつつ紹介する仕組みの案は良いと思う。
委員	・アプリの登録が面倒に感じた。誰もが使える利便性や有料・無料の差により利用するかどうか影響があると思う。
委員	・このようなアプリもあるという情報提供だったが、アプリ上の地図は航空写真を使えず、自然環境をスタンプラリーのポイントに指定する際、位置を特定しづらかった。
座長	・情報収集が必要か。
委員	・地図とスタンプラリーでアプリを分けたほうが良いかもしれない。
座長	・スタンプラリーは別途調べ、気候変動に関する市内の魅力的な取り組みが行われている場所を地図化することは先行して進められるかもしれない。
委員	・例えばバイオ炭を使う畑や市民活動で花を植えている場所等があるという紹介もできるのではないか。
委員	・バイオ炭を使う農家を把握する手段はあるのか。
委員	・難しいが、あるとすれば県の農業事務所となるか。
座長	・気候変動を止める、気候変動から身を守る等、気候変動に関することは幅広い。様々な取り組みを気候変動対策として関連付けられる。
委員	・農家が麦や花等の緑肥を蒔くことで砂埃の抑制や減肥料として関連しているのではないか。
座長	・農業系や街中系と、複数の分野で分けることができる。
委員	・プラットフォーム以外の人が投稿することもできる。スタンプラリーとして行ける場所と、場所が特定されないように情報だけ掲載できる仕組みが必要か。
座長	・今挙げたスタンプラリーに加え、雨庭を利用した緑地づくり等の新しいことにも取り組むこともできるか。
委員	・耕作放棄地を耕し、花の種を蒔き育てることは気候変動に繋がるか。
委員	・環境改善という意味では繋がるかもしれないが、改善は容易ではなく、花に雑草が混じる状態だとむしろ幻滅されるかもしれない。クリムゾンクローバーを植えるなどして、少しずつ良くなってきている。
委員	・花等の根が張ることで水の浸透が良くなる等の効果があれば耕作放棄の状態よりも気候変動対策と言えるのでは。
座長	・密生する竹林は雨水浸透が悪いが、草原に変えることで水害リスクを避ける効果がうまれる。耕作放棄地を養蜂のために花畑に変えること自体に雨水浸透に大きな差はなくても、耕作放棄地を有効活用する好例として参考となると、間接的に気候変動に繋がる。
委員	・以前から、工場から出た茶殻を農家へ引き取ってもらっていたが、工場の規模が大きくなってからは、銚子の養豚場で敷物として利用してもらっている。殺菌や脱臭効果があるようだ。また、銚子の農家の畑では茶葉を保水効果のある土壌改良資材として利用してもらっている。今後は、養豚場等で茶葉がどのように利用されているか現場を見に行くつもりだ。麦茶とコーヒー殻も引き取ってもらえるようになってきている。

座長 委員 委員	・焼却の必要が無ければ自然循環となる。 ・馬関係の方から馬糞堆肥をもらった。 ・馬糞は引き取り手が無い。処分にコストをかけることが多い。豚も牛も糞の処分に困っている。農業で利用するが限界がある。酒蔵から出る酒粕を堆肥に混ぜたら成分も良かったため一昨年から利用している。もみ殻、動物糞、酒粕いずれも処分に困っている状態だ。
委員	・農家も堆肥場が無いと自分で堆肥を作ることができない。耕作放棄地を堆肥場にし、障害者雇用の観点を組み込み新しい事業になるか。
座長 委員 委員 委員	・堆肥化するにも成分の関係でバランスが必要。 ・こうもりの糞を使う例もある。 ・企業ではオフィスに雨水タンクを置くような取り組みができるか。 ・気候変動と聞くと、脱炭素と再生可能エネルギーがすぐ浮かぶ。農業系、街中系の他に住宅系という考え方があり、太陽光発電や省エネ機器の普及等の生活に近い内容が人々に関心をもたれると思う。
委員	・市が開催したLEDランタン作りのようなイベントを企業が開催し、その場に省エネ等に関する商品が展示されていると効果的か。
座長 委員	・省エネ、再エネに関する富里独自の取り組みはあるか。 ・市区町村で変わってくる。富里はわからないが、断熱や太陽光発電関係の補助金を出すことが多い。
事務局	・以前は富里でも太陽光パネルに関する補助金を出していた。現在は蓄電池や窓の断熱等に関する補助金がある。
委員	・防災関係では、谷津の水路を蛇行させる取り組みにより、水の貯留能力を高めた。
委員	・雨の日に、隣接する畑から土が自宅のアスファルトへ流れ込んできていたので水路を変えることで被害が無くなった。
座長	・畑と道路の間に草が生えていると、資源である畑の土の流出を抑えることができる。イギリスでは川の周りの草刈りをしないことで農地から流れ込む栄養分の高い土の流入を防ぐことや、小川の流れを大量にしないよう、川沿いの柳の木を川へ切り倒して水量を調節する取り組みもある。
委員 委員 事務局 委員 委員	・実家ではゴーヤでグリーンカーテンを作っている。 ・第一小学校でもグリーンカーテンを作っていた。 ・以前、市民活動により市役所にもグリーンカーテンを作っていた。 ・守谷市ではホップでグリーンカーテンを作り、収穫してビールにしていた。 ・SDGsに取り組む企業に対しての融資や、ホームページで企業を紹介して応援する形で気候変動対策に関わっている。
座長 委員 事務局	・富里市内の企業での実績はあるか。 ・無いように思われる。 ・今回の会議では、市内で気候変動対策となる取り組みを行っている企業や団体、個人等を地図化して紹介するという方向で話が進んだと理解している。その成果物を市のホームページにリンクを貼る等して市民が情報を得ることで、どのような事が温暖化や気候変動対策に繋がるのか知ってもらえると嬉しい。

委員	・今のところ地図と雨庭の案が出ているが、11月の環境フェアに照準をあてて行動すべきか。
座長	・今日出た水循環や堆肥等のアイデアをすべて詰め込んだ小さな庭づくりという手もある。
委員	・実際に地図作りができる委員はいるか。
委員	・公開前にみなさんでクラウド上で確認し、早ければ11月に公開できるか。
座長	・完成でなくても、「こんな情報を集めているんだ」という取り組み自体を紹介し、より情報をもらい充実させることもできる。
座長	・次回の会議では大きな地図に付箋等で資源の場所を示す作業をやるか。10月に野外実装できるよう調整する。
委員	・次回の会議までに非公開のグーグルマップ上に資源場所を示すことができる。
座長	・7月を次回の会議とし、それまでに各委員でデジタル上に資源場所を挙げ、会議当日に情報共有することとする。何か思いついたことがあればLINE上で連絡いただきたい。
	4 その他 特になし
	5 閉会